

定例会見(平成30年4月25日)

議事次第

○定例会見 代表取締役社長 宮田 年耕

○会見内容

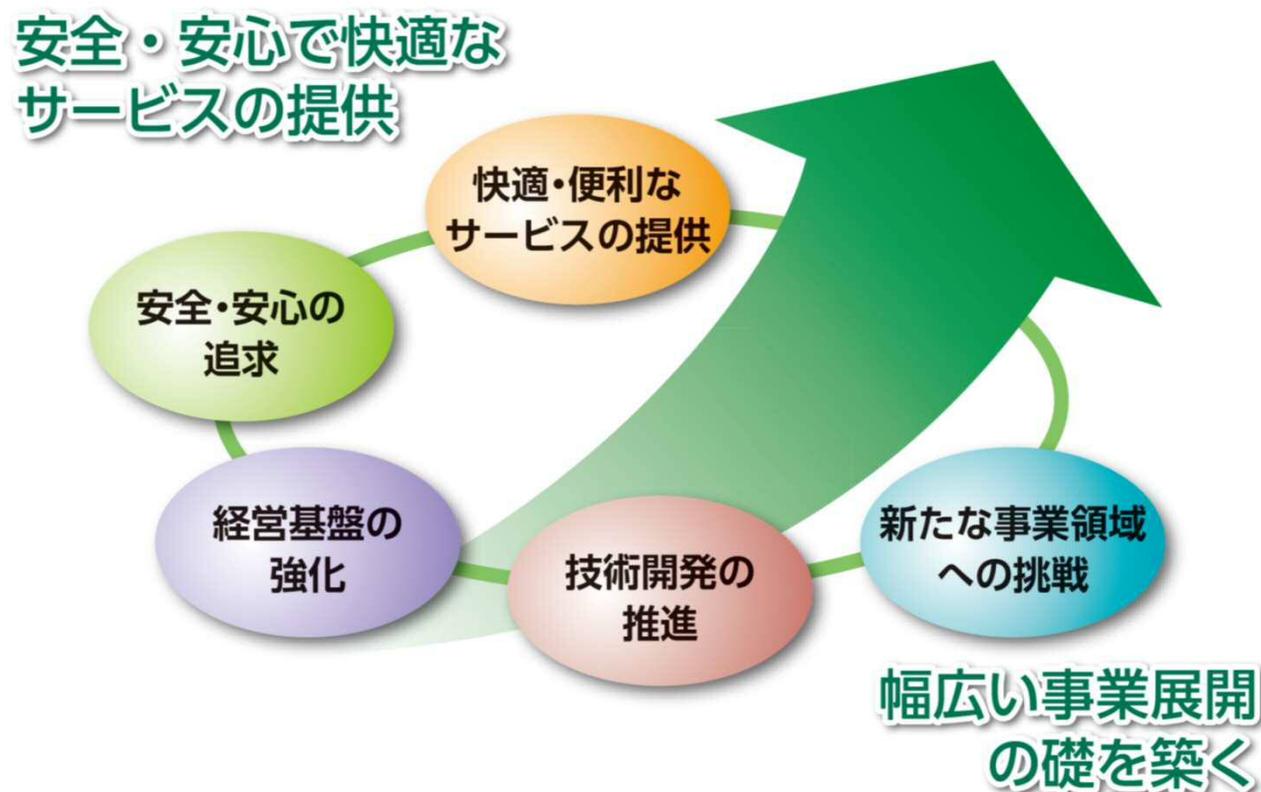
1. 中期経営計画2018-2020の概要
2. 平成30事業年度事業計画の概要
3. 平成30事業年度における主な施策について
 - [1]ネットワーク整備・更新事業の推進
 - [2]安全・安心への取組み
 - [3]環境への取組み
 - [4]①羽田線(上り)平和島本線料金所、②湾岸線(東行き)大井本線料金所の運用停止等について
 - [5]技術講演会・技術展示会の開催
4. 開通後の利用状況及び整備効果について
5. ゴールデンウィークの渋滞回避のお願い
6. 平成29年度における知的財産権の活用状況
7. 最近の通行台数状況

○質疑応答

1. 中期経営計画2018-2020の概要

[1] 3年後の目指す姿

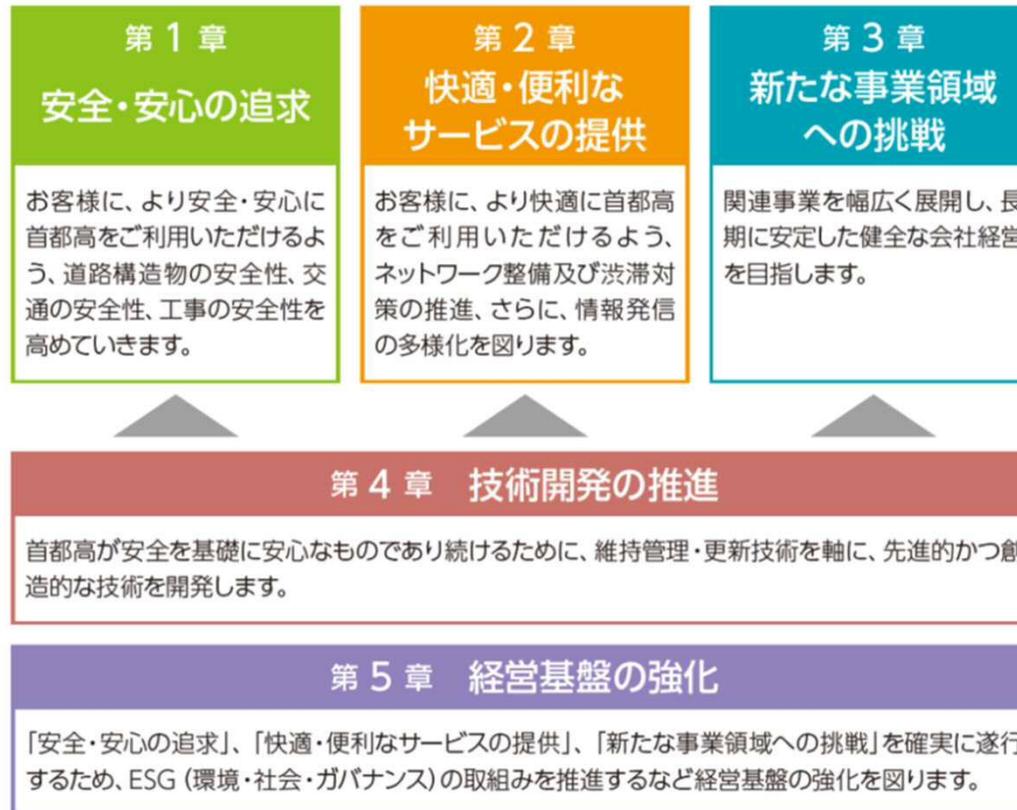
- 中期経営計画2018-2020で初めて『3年後の目指す姿』を設定
 - ◆ お客様第一の原点に立ち返り
「お客様の視点に立ち安全・安心で快適な道路サービスを提供する」こと
 - ◆ 自立した経営を実現するため
「長期に安定した健全な会社経営を実現するために幅広い事業展開の礎を築く」こと



[2] 各章に記載の主な取組みの内容

- 第1章「安全・安心の追求」…新技術を活用した維持管理や大規模更新事業の取組み
- 第2章「快適・便利なサービスの提供」…ネットワーク整備や情報提供の取組み
- 第3章「新たな事業領域への挑戦」…技術コンサルティング事業、不動産事業の取組み
- 第4章「技術開発の推進」…維持管理及び更新技術の開発、知的財産の活用取組み
- 第5章「経営基盤の強化」…環境や社会的責任に配慮した取組み及び人材育成の取組み

〈各章の関係性〉



【参考：主な数値目標・時期目標】

章	項目	中期経営計画2018-2020 目標数値	(参考)2017年度実績
第1章	橋梁点検率	100% (2019年3月まで)	75% (見込)
	道路附属物点検率	100% (2019年3月まで)	82% (見込)
	健全橋梁率	91% (2020年度目標値)	91.8%
	死傷事故率	10.5件/億台km (2020年度目標値)	10.9件/億台km
	逆走事故件数	0件 (2020年度目標値)	0件
第2章	新たに導入する渋滞対策の実施累計箇所数	6箇所 (2021年3月まで)	4箇所
	ETC利用率	98% (2021年3月まで)	95.3%
第3章	関連事業収益 (連結)	72億円 (2020年度目標値)	63億円 (見込)

章	項目	2018年度	2019年度	2020年度		
第1章	東品川・鮫洲更新工事の推進	更新上り線 (暫定下り線) 供用			東京オリンピック・ パラリンピック 競技大会	2026年度更新事業完了
	高速大師橋更新工事の推進	新橋脚構築完了 (陸上部、河川部)				2023年度更新事業完了
第2章	横浜環状北西線の整備推進	横浜環状北西線開通				
	小松川JCTの整備推進	小松川JCT完成				
	わかりやすい道路案内の実現	mew-tiによる交通情報提供の多言語化				
	本線料金所の撤去	大井本線及び平和島本線料金所撤去完了				
第3章	川口ハイウェイオアシスの展開	ハイウェイオアシスオープン				

2. 平成30事業年度事業計画の概要

- 高速道路事業2,942億円、高速道路事業以外の事業298億円、総額3,240億円の事業費をもって、首都高を安全・安心・快適に保つ適切な管理、ネットワークの整備及び関連事業等を着実に推進

高速道路事業:2,942億円(前年度:3,223億円)

事業区分	事業の概要	事業費
高速道路の新設、改築	横浜環状北西線などの新設	683億円
	東品川栈橋・鮫洲埋立部等の大規模更新	227億円
高速道路の維持、修繕	首都高速道路320.1kmの維持、修繕	1,372億円
	池尻・三軒茶屋出入口付近等の大規模更新 大規模修繕	659億円

高速道路事業以外の事業:298億円(前年度:294億円)

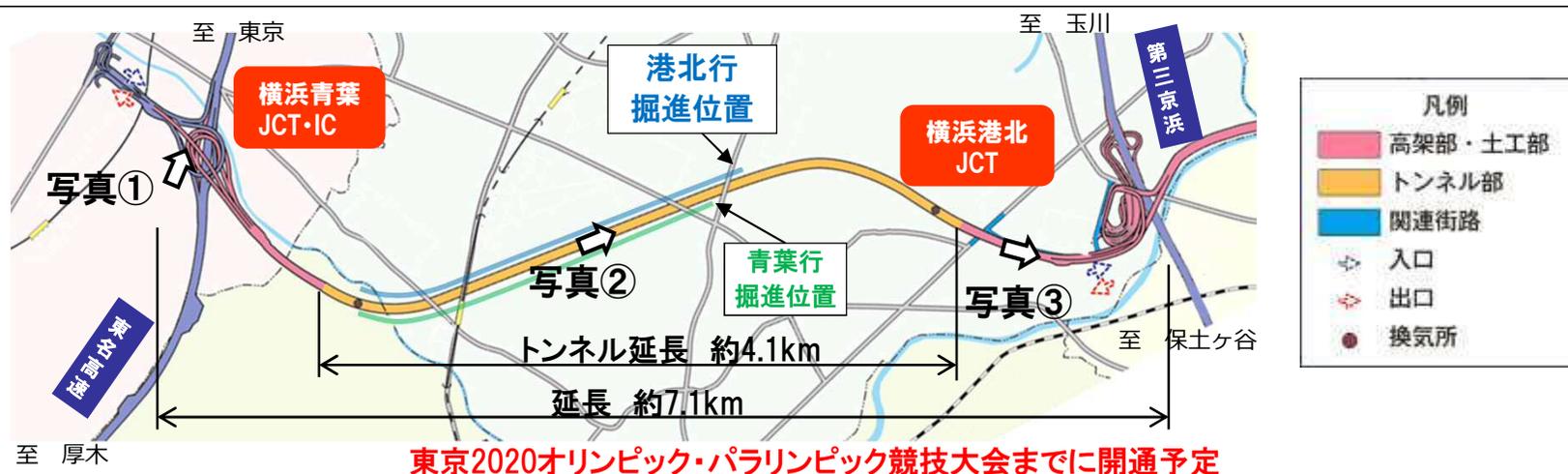
事業区分	事業の概要	事業費
パーキングエリアの管理	八潮パーキングエリアなどの管理	0.5億円
国、地方公共団体等からの受託事業	横浜環状北西線シールドトンネル工事など	266億円
その他の事業	駐車場事業、首都高速2号線高架下施設など	32億円

3. 平成30事業年度における主な施策について

[1] ネットワーク整備・更新事業の推進

① 横浜環状北西線

- 高架区間において基礎工が完了し、現在、橋脚工・桁架設を実施中
- 横浜市から受託しているシールドトンネル(港北行)を掘進中(約60%掘進完了)



写真① 横浜青葉JCT部(橋脚架設状況)



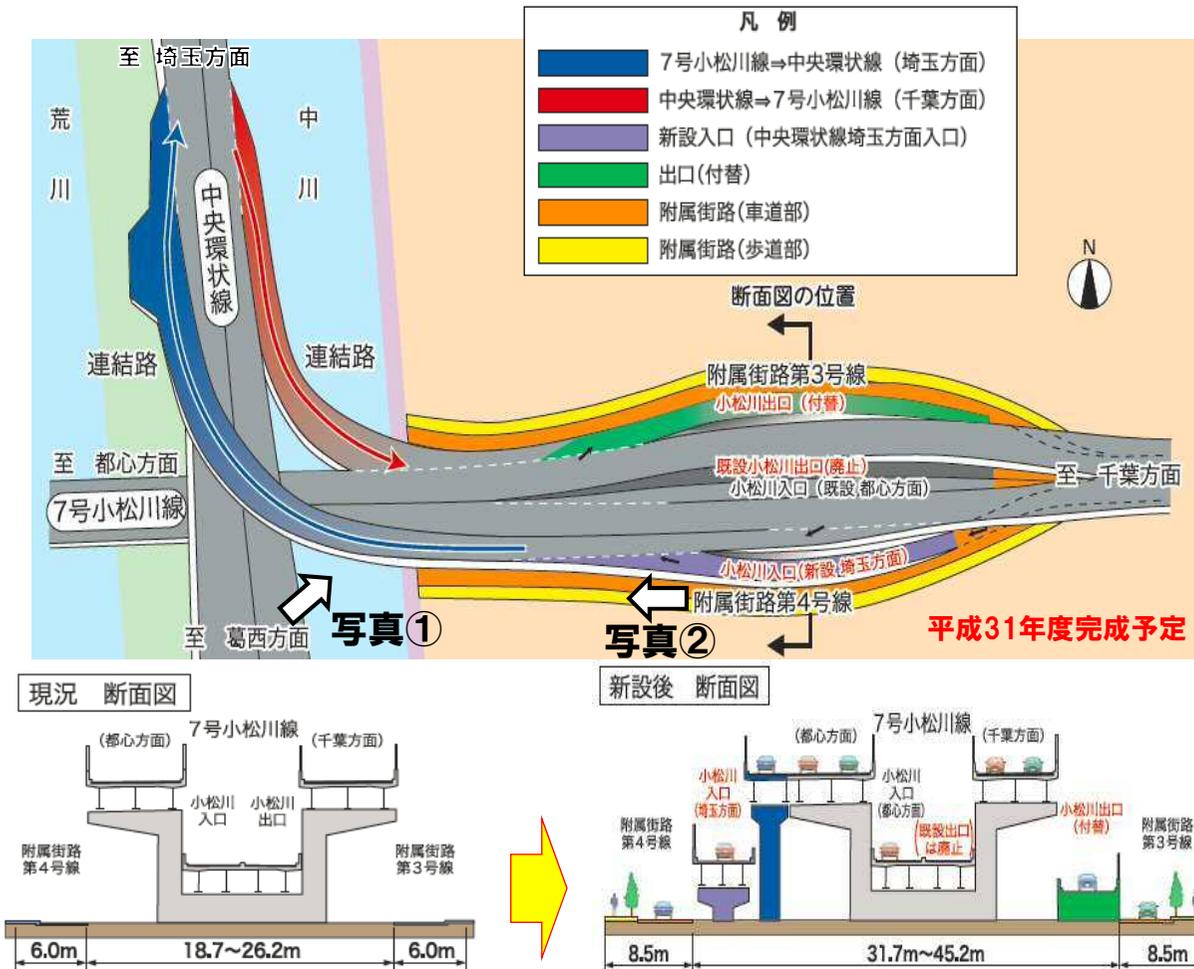
写真② シールドトンネル内部状況



写真③ 横浜港北JCT部(桁架設施工状況)

②小松川JCT新設

- 現在、河川部において上部工、陸上部において上・下部工を実施中
- 平成30年度内に上部工の桁架設が完了予定



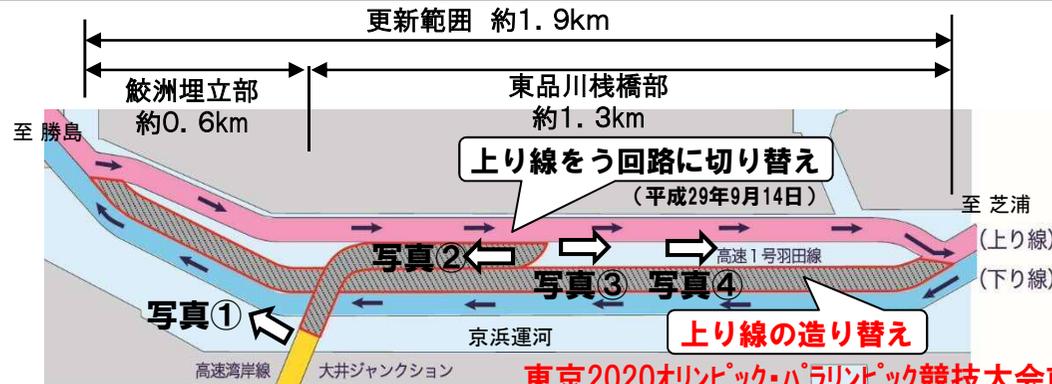
写真① 中川上(上部工施工状況)



写真② 陸上部(上・下部工施工状況)

③東品川棧橋・鮫洲埋立部

- 現在、既設上り線の撤去及び更新上り線の下部工を実施中
- 平成30年度は引き続き、上り線の造り替えを実施予定



凡例

- 施工箇所
- 高速1号羽田線(上り線)
- 高速1号羽田線(下り線)
- 高速湾岸線(大井ジャンクション)



写真④ 東品川棧橋部(基礎施工状況)



写真① 鮫洲埋立部(全景)



写真② 東品川棧橋部(橋脚施工状況)



写真③ 東品川棧橋部(全景)

④高速大師橋

- 平成29年10月に現場着手し、現在、浚渫工、仮設工(橋桁移動設備)を実施中
- 平成30年度は、新設橋脚の基礎工及び橋脚工に着手予定

事業内容



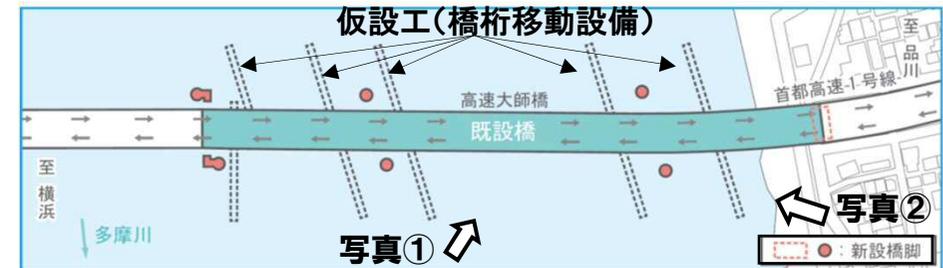
写真① 河川部(浚渫状況)



写真② 河川部(仮設施工状況)

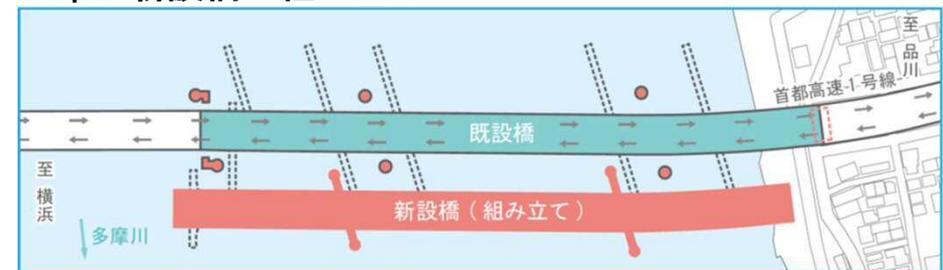
施工計画

Step1: 新設橋脚工及び仮設工(橋桁移動設備)



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会前までに施工予定

Step2: 新設橋の組み立て



新設橋の架設、既設橋解体・撤去を実施予定

[2]安全・安心への取組み

①新たな工事実施ルールの本運用について

○ ネットワークが整備され経路の選択性が向上したこと等から、高速道路上での点検・補修の実施方法を改めることとし、平成30年4月1日から本運用を開始

(平成29年6月から試行運用)

ルール ①曜日は定めず、工事渋滞が予想されない交通量の少ない時間帯に工事を実施

ルール ②交通量の多い時間帯に大きな音の出る作業を行う場合は、交通への影響を考慮して曜日を固定

◆ 構造物の高齢化の進行と過酷な使用状況の中、新しいルールのもとで、より多くの点検・補修を確実に実施し、**お客様に安全・安心な道路サービスを提供**

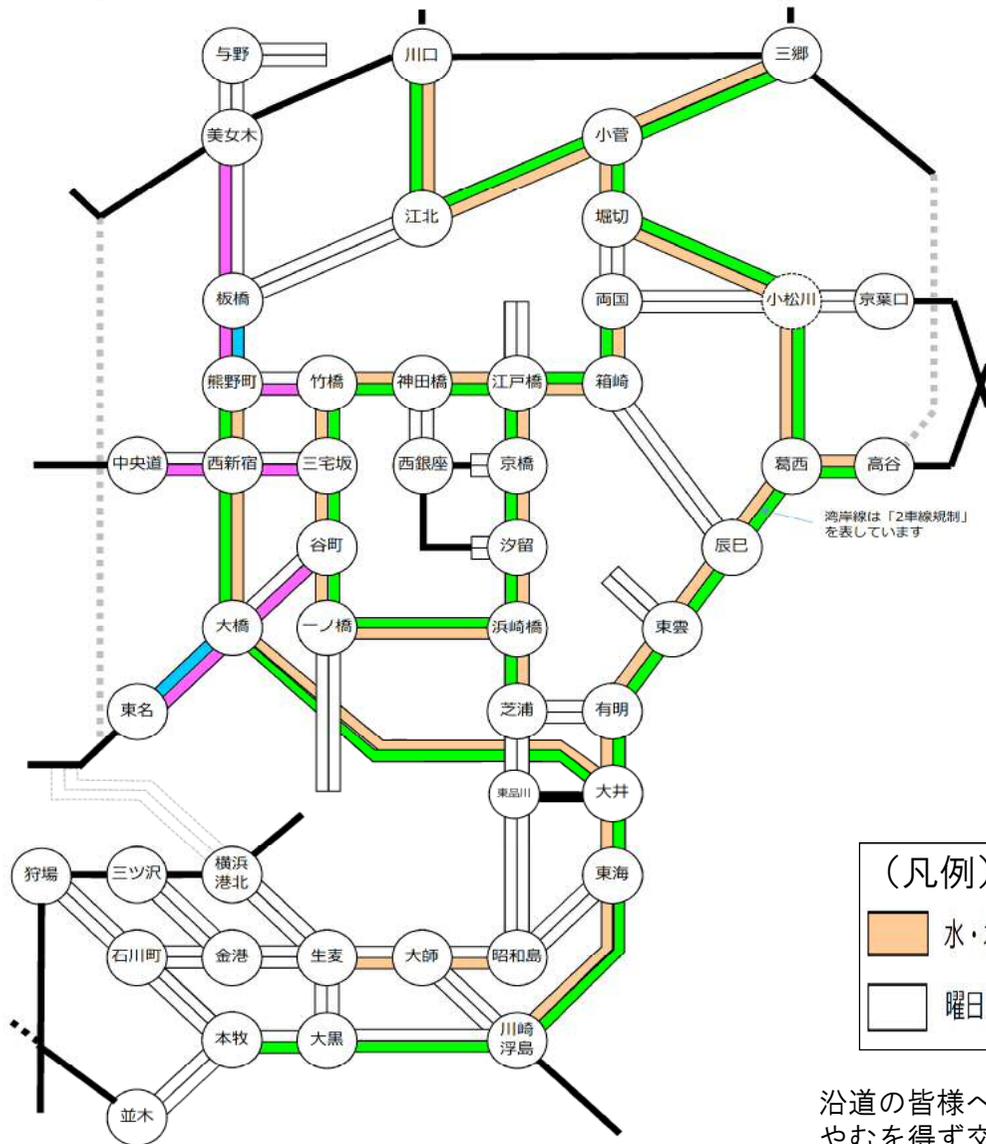
◆ 工事の実施にあたっては、お客様の**円滑な通行と沿道の環境保全に配慮**

工事予定情報の追加(3月20日から)



工事予定・交通規制情報(首都高ドライバーズサイト)

【参考】大きな音の出る作業の実施曜日



(凡例)

■ 水・木・土	■ 月・火・日	■ 月・火・水・木	■ 月・土・日
□	曜日は定めず実施します		

沿道の皆様への配慮から大きな音の出る作業を23時までに終了させるため、やむを得ず交通量の多い時間帯に作業を行う路線において定めたもの

②交通安全対策の推進

- 平成29年度の**総事故**は10,710件(136.4件/億台キロ)であり、前年度10,973件(138.7件/億台キロ)と比べ**減少**
- 平成29年の**死傷事故**は863件(10.9件/億台キロ)であり、前年959件(12.1件/億台キロ)と比べ**減少**
- 平成30年度は更なる事故削減に向け、**安全対策を推進**



写真① 注意喚起カラー舗装

◆事故対策

※総事故件数は当社調べ、死傷事故件数は警察庁調べによるもの

<ハード対策>

- ・ 交通安全重点実施箇所(事故多発地点等約40箇所)
 - ⇒ 注意喚起看板の設置等(追突事故、車両接触事故対策)
 - 注意喚起カラー舗装(写真①)等(施設接触事故対策)
- ・ 事故リスク分析による抽出箇所
 - ⇒ 舗装打ち換え
- ・ 二輪車の重大事故防止(死傷事故が発生した急カーブ区間計9箇所)
 - ⇒ フェンス等の設置(写真②)



写真② フェンス設置

<ソフト対策>

- ・ 運送事業者等への交通安全講習会開催
- ・ バイク隊による休日模範走行(休日二輪車の事故防止)
- ・ 事故多発地点での**LED車両による注意喚起(写真③)**

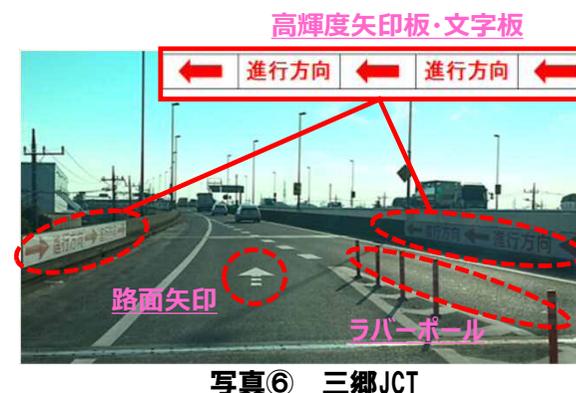
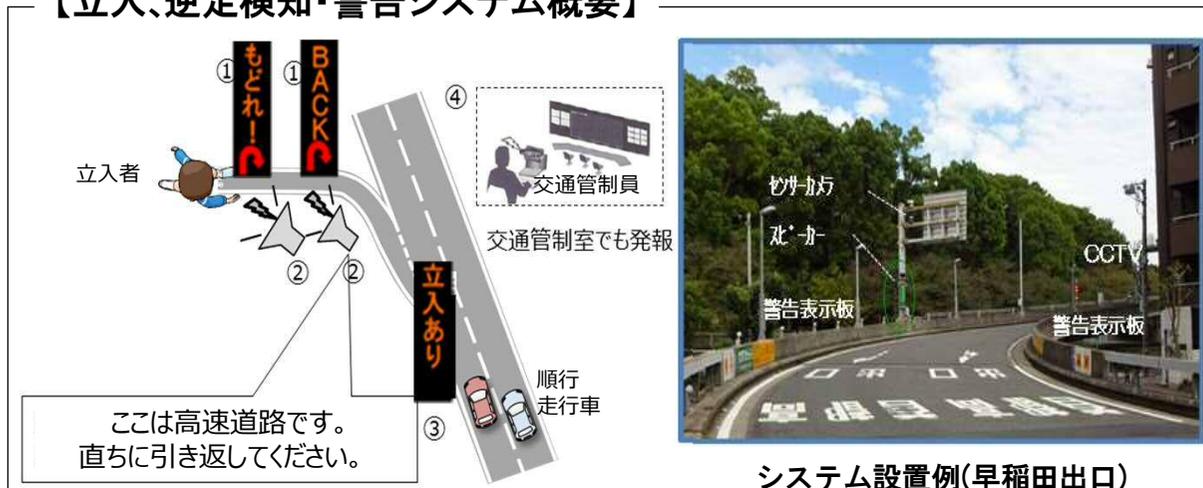


写真③ LED車両による注意喚起

◆ 歩行者等立入、逆走対策

- 全ての出入口(354箇所)＜実施済＞
⇒ 大型注意喚起看板、立入禁止看板、路面矢印(写真④)等
- 個別箇所(箇所ごとに評価・分析)
⇒ 黄色カラー舗装(一般街路との色による区別:5箇所で実施済)(写真⑤)等
- 本線合流部(282箇所で実施済)
⇒ 路面矢印、高輝度矢印板・文字板、ラバーポール(写真⑥)等
- 立入、逆走検知・警告システム (39箇所で運用開始)
⇒ 現地警告機能強化対策を平成31年度までに120箇所実施予定。うち、料金所のない60箇所について既製品等を活用した簡易的なシステムを導入予定。

【立入、逆走検知・警告システム概要】



[3]環境への取組み

○ 環境への取組み姿勢

私たちは持続的発展が可能な社会の実現に貢献するとともに、よりよい環境の実現と地域社会との共生に向けて地球環境や沿道環境の保全に取り組んでいきます。 （首都高環境ビジョンより）

平成30年度も**環境への取組みを知って頂くための環境イベント**を引き続き実施

	時期	イベント	場所
「おおはし里の杜」での稲作体験	6月8日(金)	地域の小学生による田植え体験	大橋ジャンクション 「おおはし里の杜」
	7月17日(火)	地域の小学生による自然観察会	
	10月2日(火)	地域の小学生による稲刈り体験	
	10月30日(火)	地域の小学生による脱穀体験	
ビオトープでの環境学習等	7～11月	専門学校生や大学生による環境学習、地域の幼稚園児による自然観察会等	見沼たんぼ首都高ビオトープ
首都高環境フェア【主催】	11月頃(土日)	首都高環境フェア in みなとみらい	
	1月頃(土日)	首都高環境フェア in お台場	
	春頃(土又は日)	首都高環境フェア in さいたま	

※稲作体験イベントの時期は天候等により変更となる場合があります。

※当社が実施している環境への取組みについては、『首都高環境サイト shuto-E-co』で紹介しています。

※報道機関のみなさまには、各イベントの開催日が近づきましたらご案内します。

《平成29年度に実施した環境イベントの様子》

・「おおはし里の杜」での稲作体験



〔田植え〕 H29.6.6実施



〔稲刈り〕 H29.10.3実施

・ビオトープでの環境学習等



〔専門学校生による環境学習〕
H29.9.15実施

・首都高環境フェア



〔首都高環境フェア2017 inさいたま〕
H29.9.3実施／アンケート回答数700名



〔首都高環境フェア2018 inみなとみらい〕
H30.1.6-7実施／アンケート回答数1,800名



〔首都高環境フェア2018 inお台場〕
H30.2.17-18実施／アンケート回答数1,400名

[4] ①羽田線(上り)平和島本線料金所、②湾岸線(東行き)大井本線料金所の運用停止等について
 ～よりスムーズな通行を目指して～

①概要

- 「料金圏ごとの均一料金」から「料金圏のない距離別料金」に移行したことにより、旧料金圏の境にある本線料金所の撤去が可能となった
- よりスムーズにご通行いただけるよう、平成30年5月20日(日)22時に、平和島本線料金所・大井本線料金所の運用を停止
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会までに、料金所建物を撤去予定

<運用開始・運用停止料金所一覧>



写真① 平和島本線料金所



写真② 大井本線料金所

料金所ごとの運用開始・停止に関する詳細は別途お知らせします

②羽田入口(上り)の長期通行止め及び平和島PA(上り)のご利用方法の変更について

②-1 羽田入口(上り)

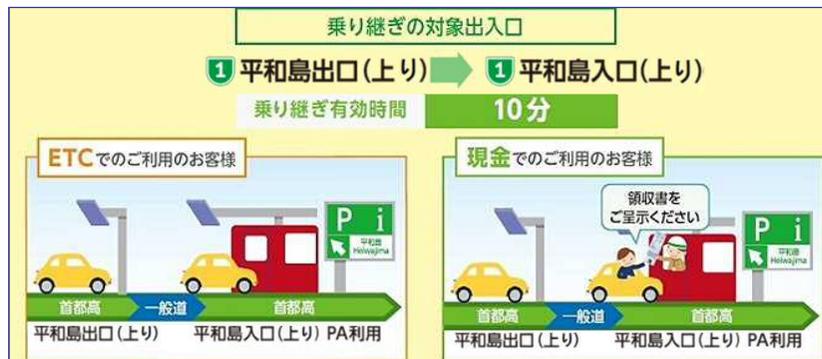
- 料金所新設工事のため、平成30年5月14日(月)5時から約1年間の通行止めを実施
- 通行止め期間中は、羽田線(上り)鈴ヶ森入口・空港西入口、湾岸線(東行き)大井南入口をご利用ください



図① 羽田入口(上り)位置図

②-2 平和島PA(上り)

- 平和島本線料金所撤去工事に伴い平成30年5月21日(月)6時から平成31年12月まで羽田線(上り)本線からの入場ができなくなるため、一般道を経由した乗り継ぎ措置を実施
- 食堂・売店は平成30年5月末に一旦営業休止し、平成32年4月再開予定(トイレ、自動販売機、道路交通情報に係るインフォメーションは引き続きご利用可)



図② 平和島PA(上り)ご利用方法図

[5]技術講演会・技術展示会の開催

○首都高速道路株式会社が公団として設立し、今年が60年目のスタートとなることから
『首都高速道路の技術60年』をテーマに記念行事を開催

技術講演会

【日時】

平成30年6月6日（水） 10：00～17：20（受付開始9：30）

【会場】

有楽町朝日ホール（東京都千代田区有楽町2-5-1有楽町マリオン11階）

【プログラム】

午前の部：首都高速道路の技術60年 ～創設期から最新の技術を紹介～

午後の部：新時代の橋梁とメンテナンス ～供用期間100年に向けた取組み、技術開発、
求められる技術者像～



技術展示会 首都高の技術60年～建設から管理まで & 今後に向けて～

【日時】

平成30年6月6日（水）～8日（金） 10：00～18：00
（8日は16：00まで）

【会場】

有楽町朝日スクエア（有楽町マリオン11階 有楽町朝日ホール内）



（一財）首都高速道路技術センターとの共同開催

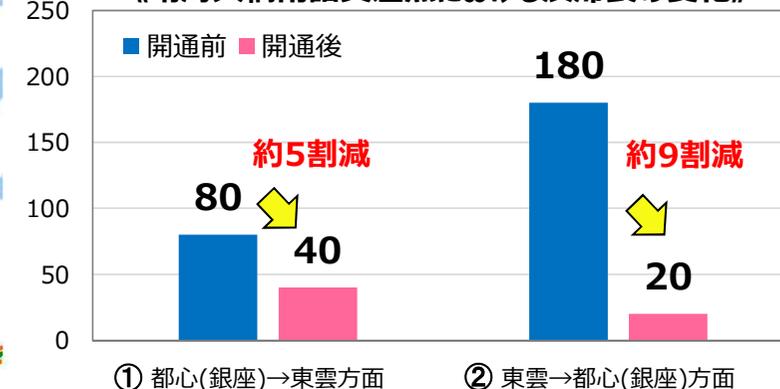
4. 開通後の利用状況及び整備効果について

[1] 10 晴海線(晴海～豊洲)

- 晴海出入口は1日当たり約5,000台、豊洲出入口を加えた晴海線全体は約11,000台
(開通後1か月の平日平均)
- 豊洲出入口を利用していた交通の約4割が晴海出入口利用に転換した結果、
並行する有明通りの晴海大橋南詰交差点における渋滞が大幅に緩和
- なお、晴海出入口と接続する晴海三丁目交差点においては渋滞は発生していない
- お客様からも「定時性の向上」「便利になった」等の声あり



渋滞長 (m) 《晴海大橋南詰交差点における渋滞長の変化》



データ：交通実態調査（開通前：H30.3.8（木）、開通後：H30.4.5（木））
※開通前の渋滞ピーク時間（朝10時台）



■ 観光バス事業者(株)はとバスからの声

- ・ 晴海線を通行する「TOKYOパノラマドライブ」のツアーは非常に人気が高く、繁忙期には1日20便を運行しています。
- ・ 定時運行の面でも、効果を期待しています。



平成30年4月ヒアリング調査（首都高速道路(株)調べ）

■ 一般利用者からの声

- ・ とても便利になりました。銀座も近くなりました。
- ・ 混雑が解消されると嬉しいです。
- ・ 災害に強い道路、インフラを期待しています。



平成30年4月ららぽーと豊洲におけるアンケート調査（首都高速道路(株)調べ）

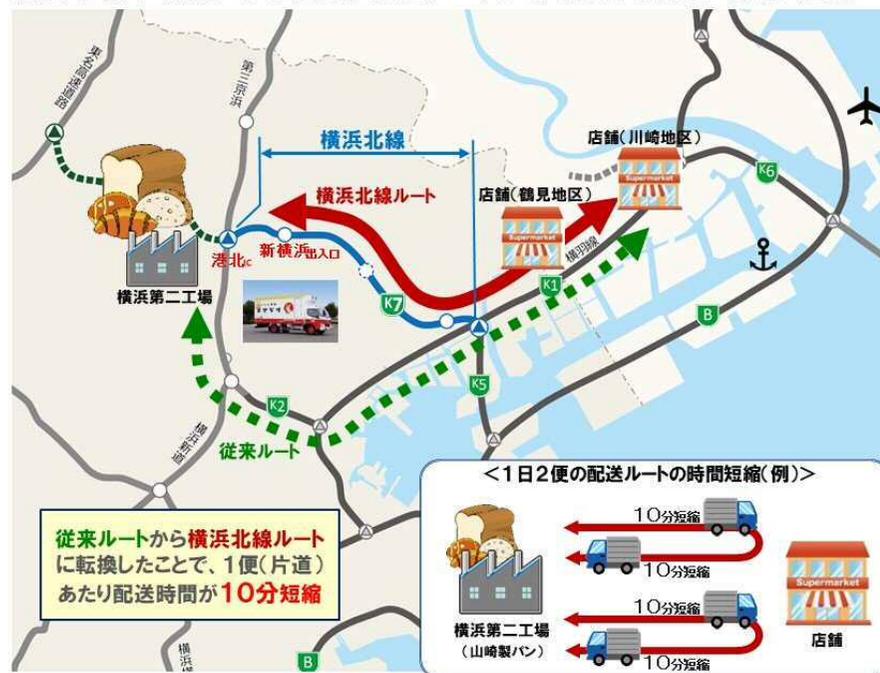
[2] 横浜北線(横羽線～第三京浜)

【平成29年3月18日開通】

- 平成29年3月の開通から1年が経過し、企業活動の効率化等の**ストック効果が発現**
- 配送時間が1日当たり最大約40分短縮し、残業時間の短縮に寄与
- 高速利用による時間短縮、複数ルート確保により、安定した血液搬送が実現

事例1:山崎製パンの企業活動の効率化

横浜北線の利用により新たな配送ルートが形成され、配送時間が短縮



川崎や鶴見地区への配送ルートにおいて、1日あたりの配送時間が10～40分の短縮しています。配送時間の短縮は、残業時間の短縮に寄与しています。【事業者ヒアリングより】

事例2:「安定した血液搬送」を支援

交通状況に応じた血液搬送ルートの確保、搬送時間の短縮



横浜北線の整備により、血液搬送の時間短縮が図れ、複数の搬送ルートが選択できるため、交通状況に応じた活動が可能となりました。【事業者ヒアリングより】

- **K7** 横浜北線は、1日あたり約20,000台(新横浜～岸谷生麦間)が利用
- 特に、**K2** 三ツ沢線を経由して東京方面へ向かっていた交通が、**K7** 横浜北線経由に経路を変更



[3] ② 中央環状線4車線化後の交通状況

① 堀切・小菅ジャンクション間(内回り)【平成30年2月25日4車線化】

- 最大通過台数が1割増加し、**走行性が向上**
- 当該区間を先頭とする渋滞損失時間が1割減少し、**渋滞が緩和**

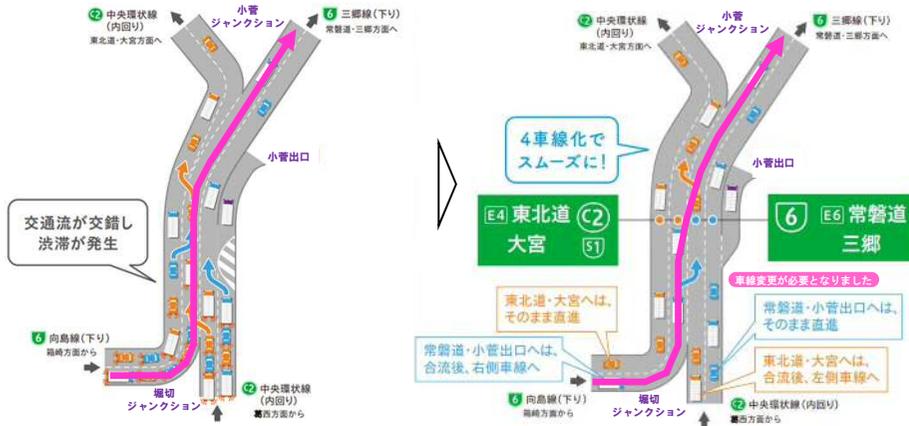


4車線化後の状況

(4車線化前)

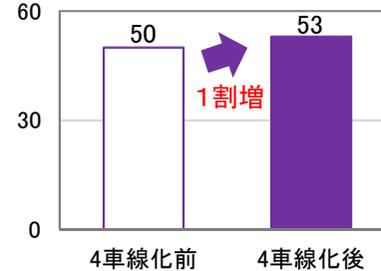


(4車線化後)



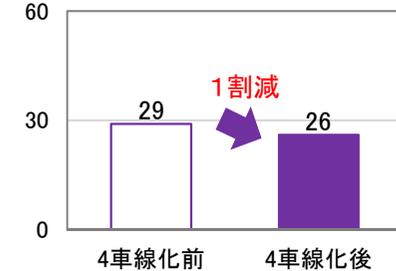
最大通過台数

(百台/時)



渋滞損失時間

(百台・時/日)



※対象区間：堀切ジャンクション→小菅出口

※対象区間：葛西及び両国ジャンクション→堀切ジャンクション

対象期間：H29.4.3~4.16、H30.4.2~4.15 (平日)

対象期間：H29.4.3~4.16、H30.4.2~4.15 (平日)

ご走行にあたって

- 4車線化に伴い、合流・分流がスムーズになり渋滞が緩和されましたが、速度も上昇しておりますので、事故の発生を防ぐため、前方や側方に注意しながら走行していただくをお願いします。
- 4車線化に伴い、**6** 向島線箱崎方面から **E6** 常磐道・三郷方面へは車線変更が必要となりました。
 - ⇒ 堀切ジャンクション手前では右車線を走行
 - ⇒ 合流後は余裕をもって三郷方面側へ車線変更してください。

② 板橋・熊野町ジャンクション間(内回り・外回り)

【平成30年3月18日4車線化】



○ 最大通過台数が1割増加し、**走行性が向上**

○ 当該区間を先頭とする渋滞損失時間が4割減少し、**渋滞が緩和**

4車線化後の状況

(4車線化前)



(4車線化後)



最大通過台数

(百台/時)



渋滞損失時間

(百台・時/日)

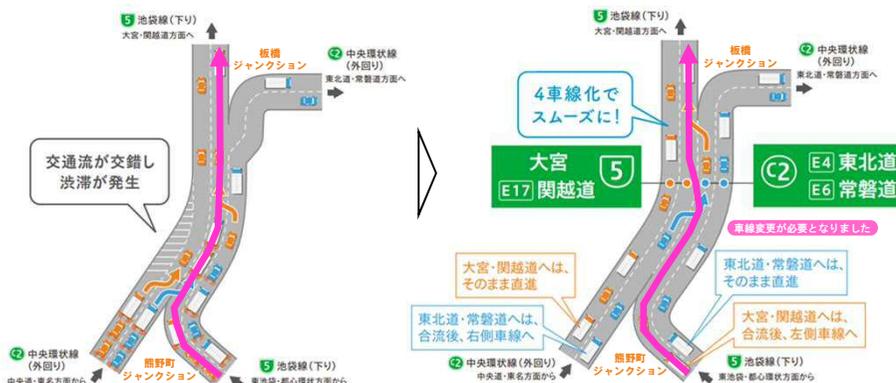


※対象区間：板橋ジャンクション⇔熊野町ジャンクション
対象期間：H29.4.3~4.16、H30.4.2~4.15（平日）

※対象区間：美女木及び江北ジャンクション→板橋ジャンクション
竹橋及び西新宿ジャンクション→熊野町ジャンクション
対象期間：H29.4.3~4.16、H30.4.2~4.15（平日）

ご走行にあたって

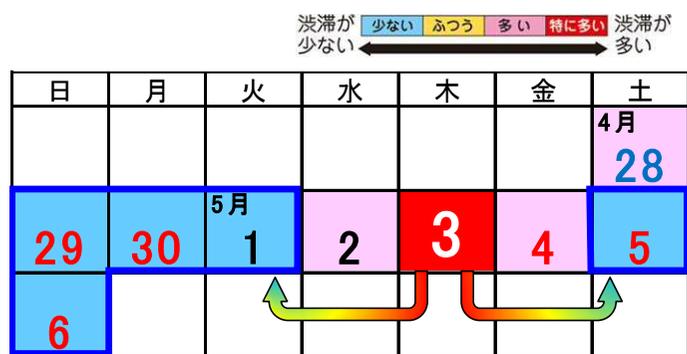
- 4車線化に伴い、合流・分流がスムーズになり渋滞が緩和されましたが、速度も上昇しておりますので、事故の発生を防ぐため、前方や側方に注意しながら走行していただくをお願いします。
- 4車線化に伴い、5池袋線都心環状方面から大宮・E17関越道方面へは車線変更が必要となりました。
 - ⇒ 熊野町ジャンクション手前では左車線を走行
 - ⇒ 合流後は余裕をもって大宮方面側へ車線変更してください。



5. ゴールデンウィークの渋滞回避のお願い

- **5月3日(木・祝)**は、ゴールデンウィークの中で**最も渋滞が多くなる**予想
- **湾岸線(西行き)**では、アクアラインを先頭に**激しい渋滞の発生が予想される**ため、**羽田空港**へは**1号羽田線**や**国道357号**のご利用をご検討ください

□ ゴールデンウィーク期間中の渋滞予想



5月3日(木・祝)のご利用を避けて、**渋滞が少ないと予想される日**のご利用をご検討ください

※ルートを変更することにより通行料金が変わる可能性があります。
※天気・事故等により、交通状況は変動します。当日の交通状況をご確認の上首都高をご利用ください。

□ ゴールデンウィーク期間中に羽田空港へ向かわれる方へのお願い

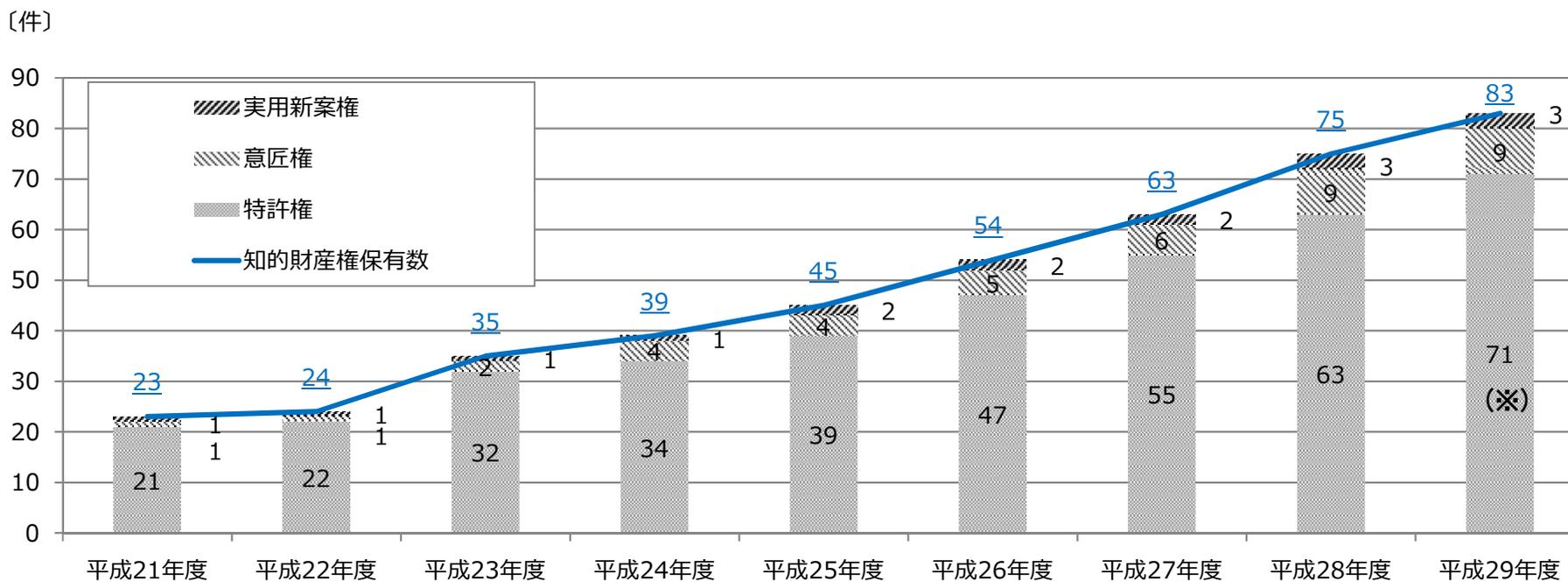


6. 平成29年度における知的財産権の活用状況

首都高の知的財産は、国、地方自治体をはじめ、他の事業者の社会基盤において、効率的な事業運営に貢献している。

[1] 知的財産権の保有状況

平成29年度末までの知的財産権の保有状況は、特許権71件、意匠権9件および、実用新案権3件、合計83件となっている。このうち、特許権10件については、平成29年度に取得したものである。



【知的財産権保有数】

※知的財産権（特許権）のうち、有効期限（20年）が切れたものが有り、保有数が2件減少した

[2] 知的財産権の活用状況

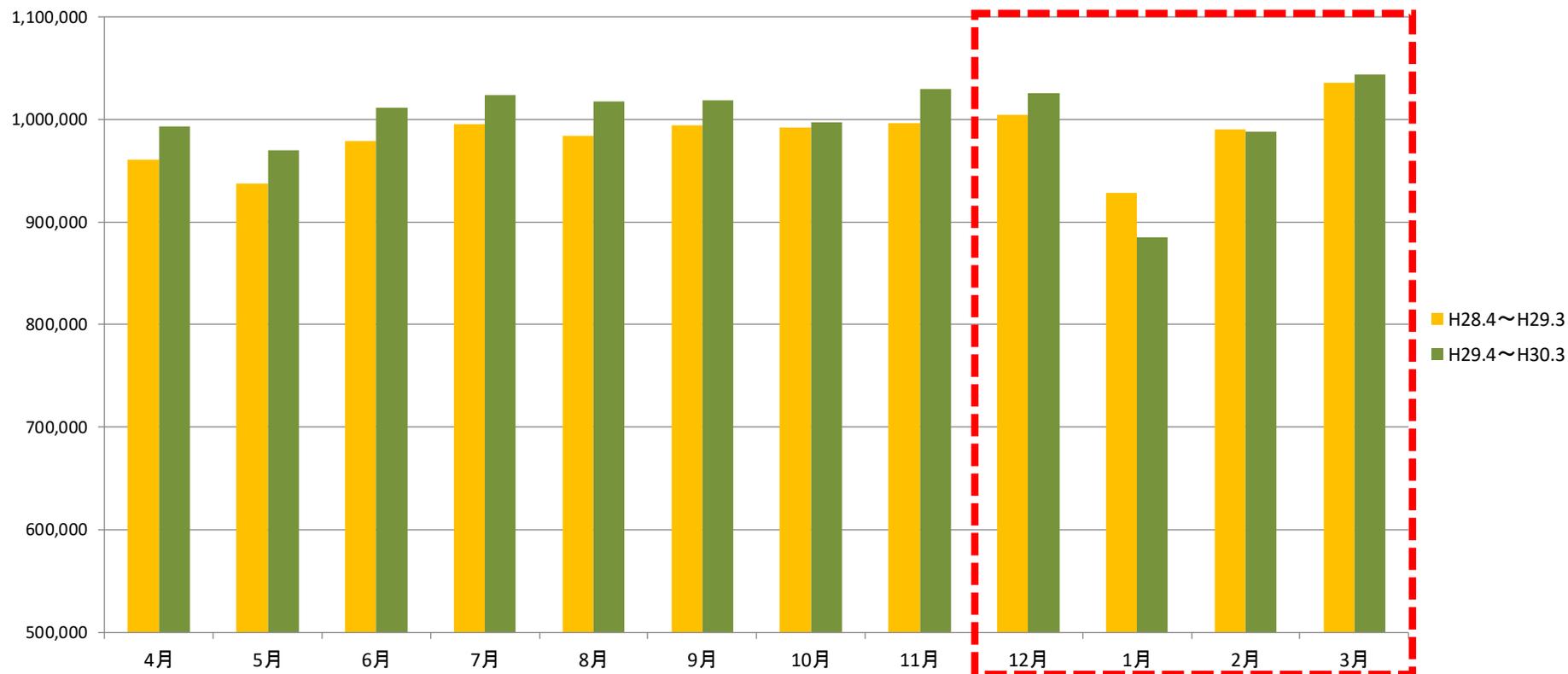
平成29年度に活用され、実施料収入を得た当社の知的財産は、特許権27件(出願中10件を含む)、
 実用新案権3件および意匠権5件である。

【活用され、実施料収入を得た知的財産権（平成29年度）】

分類		特許等の名称	主な使用実績
特許	登録	1 鋼橋脚用アンカーフレーム及びこれを用いたフーチング	NEXCO中
		2 柵蓋等の取付構造	当社
		3 コンクリート製の高架橋の補修方法	国交省、東京外口、NEXCO東、NEXCO中、当社
		4 道路床版の補強方法	国交省、地方自治体、福北公社
		5 縦リブ複合床版	当社
		6 コンクリート舗装に使用するコンクリート材料供給装置	NEXCO東、阪神高速
		7 鋼床版のデッキ内の亀裂の探傷のための探触子ホルダ、探傷装置及び探傷方法	地方自治体
		8 RC合成鋼床版桁橋	当社
		9 橋梁用伸縮装置のスリップ防止方法およびスリップ防止構造体	地方自治体
		10 トイレットペーパーホルダー及びカバー	JR(駅)、NEXCO東(PA)、NEXCO西(PA)、当社
	出願中	11 標識装置	当社
		12 タイル目地模様を有するトンネル壁面の塗装方法	当社
		13 標示体、および、標示体の設置方法	当社
		14 落下防止機構を備えた配管支持金物	当社
		15 セメント混合物の施工方法、及び、収集装置	当社
		16 吹付け材の形成方法、及び、吹付け材の形成装置	当社
		17 橋梁用漏水防止構造及びその形成方法	当社
実用新案	登録	18 コンクリート床版の防水方法及びコンクリート床版の防水構造	国交省、地方自治体、阪神高速、福北公社、当社
		19 固定具	当社
		20 渡し板	当社
		21 塗料組成物	当社
		22 視線誘導標装置及び速度誘導システム	当社
		23 段差解消構造、段差解消材、発泡体、及び段差解消方法	国交省、地方自治体、名高公社、当社
		24 脱落防止具	NEXCO、地方自治体、大成建設、当社
		25 あと施工アンカーの施工方法及びあと施工アンカー	当社
		26 EPSスロープ	NEXCO中、当社
		27 ガードレール用締付具及びガードレール接続構造	当社
意匠	登録	28 緩み止め特殊ナット	当社
		29 ケーブルサポート	NEXCO東、当社
		30 落下防止機構を備えた配管支持具	当社
意匠	登録	31 電気ケーブル架設用支持具	国交省、NEXCO中、当社
		32 ケーブルラック用振れ止め金具	当社
		33 自発光式視線誘導標 <全体>	当社
		34 自発光式視線誘導標 <部分その1>	当社
		35 自発光式視線誘導標 <部分その2>	当社

7. 最近の通行台数状況

(単位：台/日)



平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
通行台数 (万台/日)	99.4	97.0	101.1	102.4	101.8	101.9	99.7	103.0	102.6	88.5	98.9	104.4	100.0
前年同月比	103.4%	103.4%	103.2%	102.8%	103.4%	102.4%	100.5%	103.4%	102.1%	95.3%	99.8%	100.8%	101.7%